

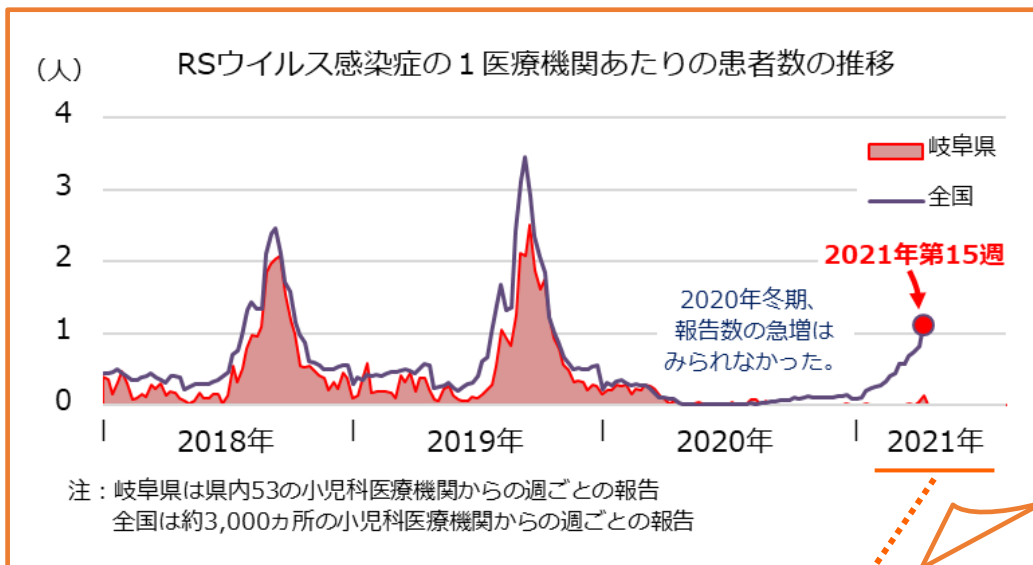
# ぎふ感染症かわら版

令和3年4月23日 岐阜県感染症情報センター（岐阜県保健環境研究所）

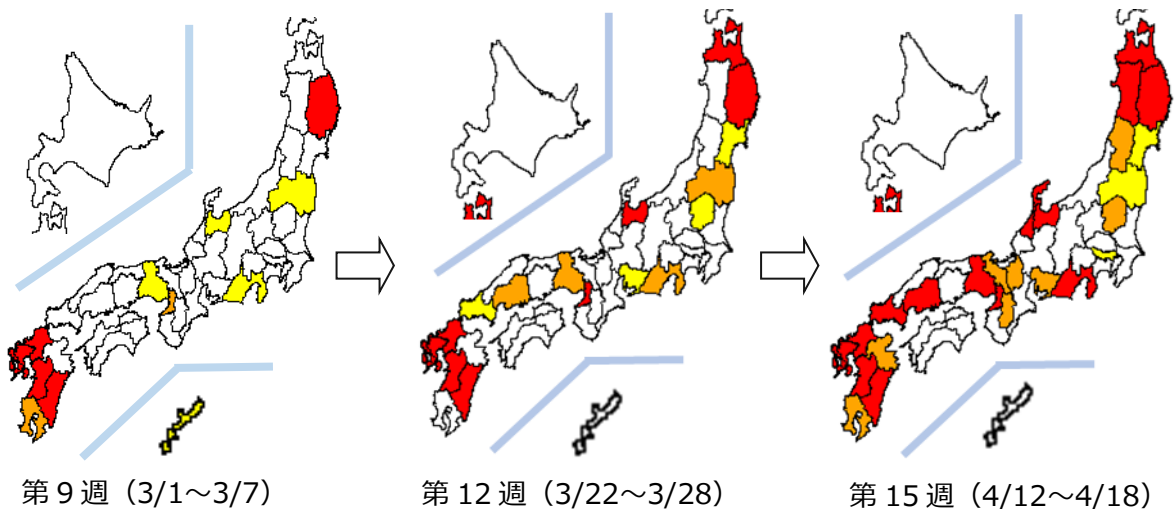


## 全国的にRSウイルス感染症が広がっています！

RSウイルス感染症は例年冬期に報告数のピークがみられましたが、2020年はその兆候がみられず、低い値での推移が続きました。2021年に入ってから岐阜県内においては低い値での推移が続いていますが、全国的には感染が拡大している地域もあり、今後岐阜県への感染拡大も予想されることから注意が必要と考えられます。



## 全国の1医療機関あたりの患者数の推移（2021年）



色	範囲（1医療機関あたりの患者数）	範囲の根拠
	0.23 未満	2019年全国データの25%値未満
	0.23 以上 0.48 未満	— — 25%値以上 50%値未満
	0.48 以上 1.10 未満	— — 50%値以上 75%値未満
	1.10 以上	— — 75%値以上

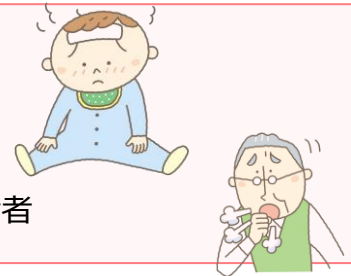
## RSウイルス感染症って、 どんな病気？

RSウイルス感染症は、赤ちゃんに注意が必要な呼吸器の感染症です。ほぼ100%の人が2歳までに1度は感染するとされていますが、感染後も生涯にわたる免疫はできないため、何度も感染と発病を繰り返します。

症状は、発熱や鼻水などの軽いかぜ症状から重い肺炎まで様々です。はじめて感染した場合は重くなりやすく、特に赤ちゃんでは細気管支炎や肺炎などの重い症状をおこしやすくなります。

### RSウイルスの感染に注意が必要な人

- ◆ 生後6か月までの乳児
- ◆ 心臓や肺、または免疫不全の基礎疾患をもつ小児
- ◆ 慢性呼吸器疾患（ぜんそくなど）の基礎疾患をもつ高齢者



## どうやって 予防すればいいの？

感染している人のくしゃみや咳などによる飛沫感染、あるいはウイルスの付いた手指などを介した接触感染によってうつります。ワクチンや特効薬はありませんので、一般的な予防が大切です。

家庭内で感染が広がりやすいため、赤ちゃんや持病をもつ高齢者のいる家庭では、次のことに心がけ、感染予防に努めましょう。

- 石けんを使った手洗いと、アルコールによる手指の消毒をおこないましょう
  - かぜのような症状があるときは、できるだけ赤ちゃんや高齢者と身近に接することを控えましょう
- ※年長のお子さんや大人の場合、RSウイルスに感染しても、軽い症状ですむことが多いため、気づかずに赤ちゃんにうつしてしまうことがあります。
- 咳が出るときはマスクを着用し、咳エチケットを心がけましょう



## 新型コロナウイルス 感染症と違う点は？

心にとどめていただきたい相違点としては、重症化する怖れの高い年代が、それぞれの感染症で異なるということです。これまでのデータによると、新型コロナウイルス感染症は高齢の方の重症化リスクが高いと言われていた

ますが、RSウイルス感染症は逆に乳児及び小児の重症化リスクが高いとされています。そのため乳児及び小児と身近に接する際には、自分が感染しているかもしれないという意識を持って、十分注意を払うことが重要と考えられます。

一方、類似点としてはどちらの感染症も飛沫感染及び接触感染によってうつることが挙げられます。そのため3密の回避や手洗いの励行など、新型コロナウイルス感染症への感染予防対策はRSウイルス感染症にも有効と考えられます。



保育所や幼稚園、高齢者施設など、希望される施設に対して「ぎふ感染症かわら版」のメール配信もおこなっています。くわしくは岐阜県感染症情報センターホームページをご覧ください。

